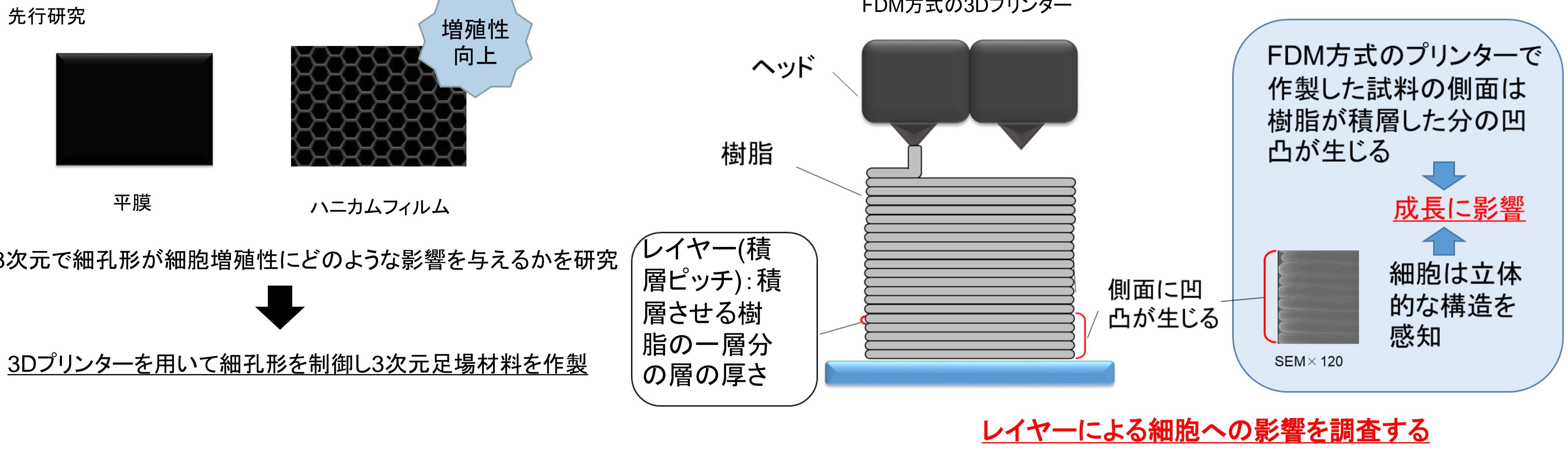


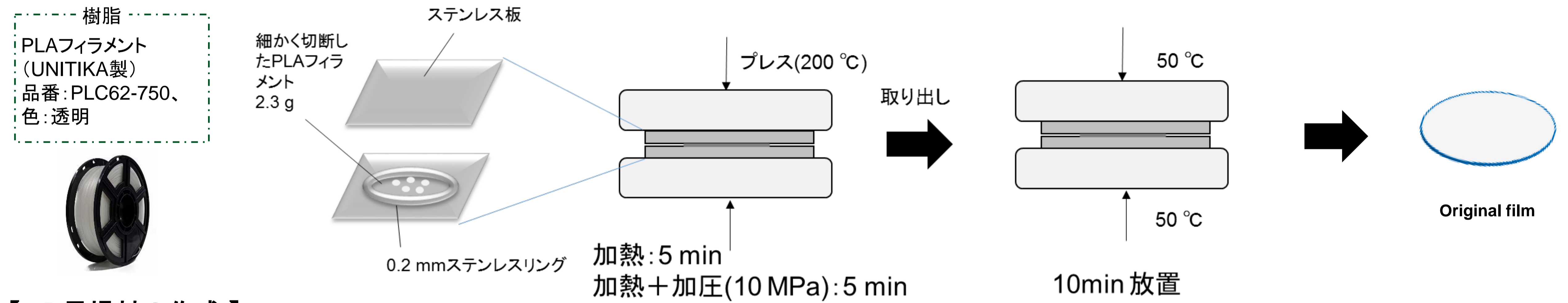
## 生分解性高分子を用いた組織再生用足場材料の開発

金沢工業大学 修士2年:古西郎夫 滝口涼太 修士1年:納祐一 学部4年:國本昂大

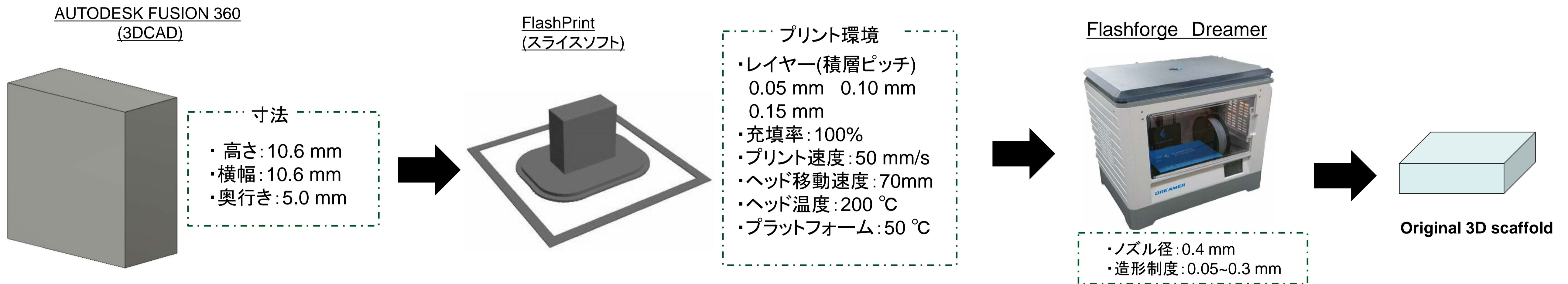
### 【研究目的】



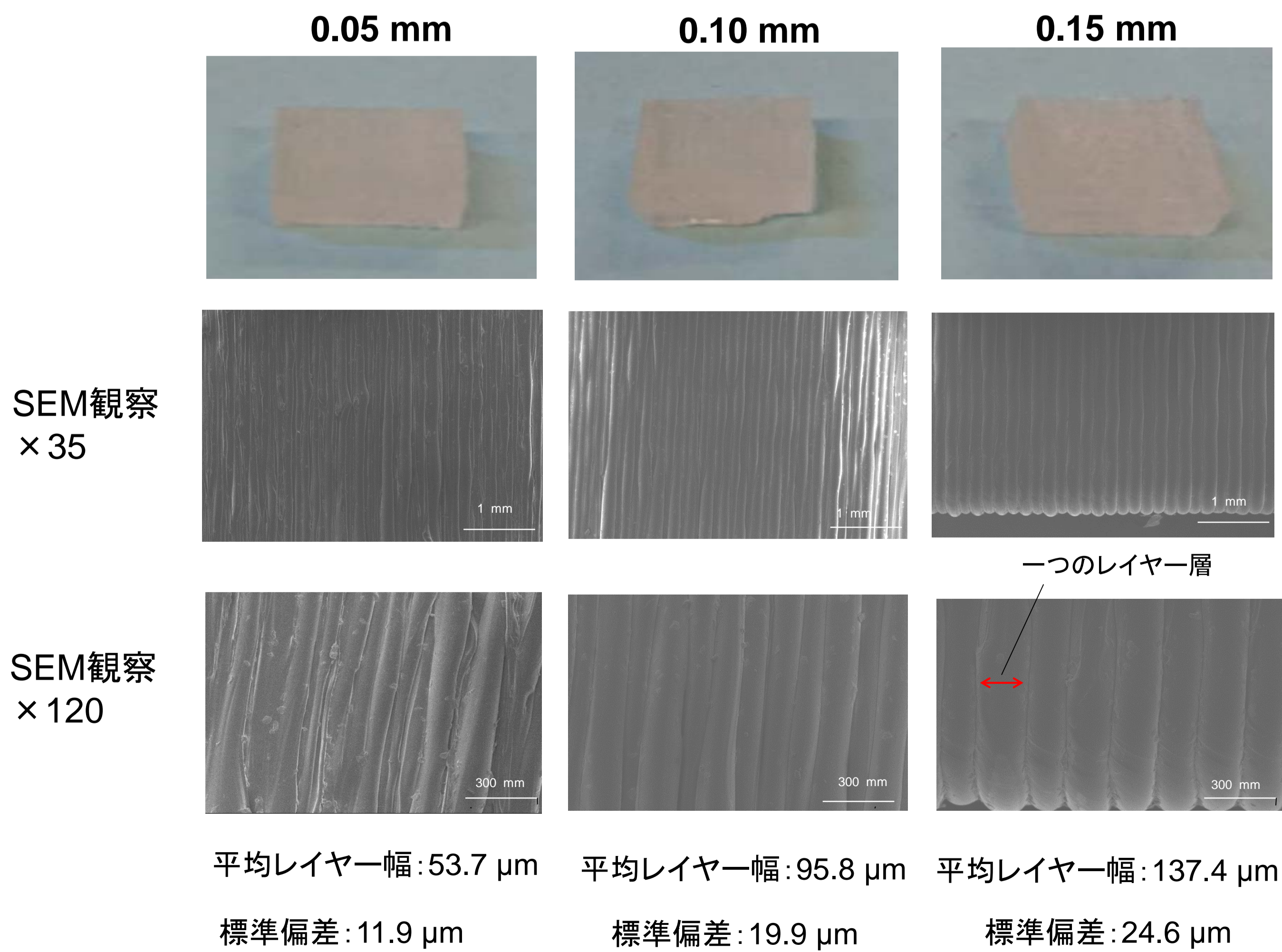
### 【オリジナルシートの作製】



### 【3D足場材の作成】



### 【3D足場材の表面観察】

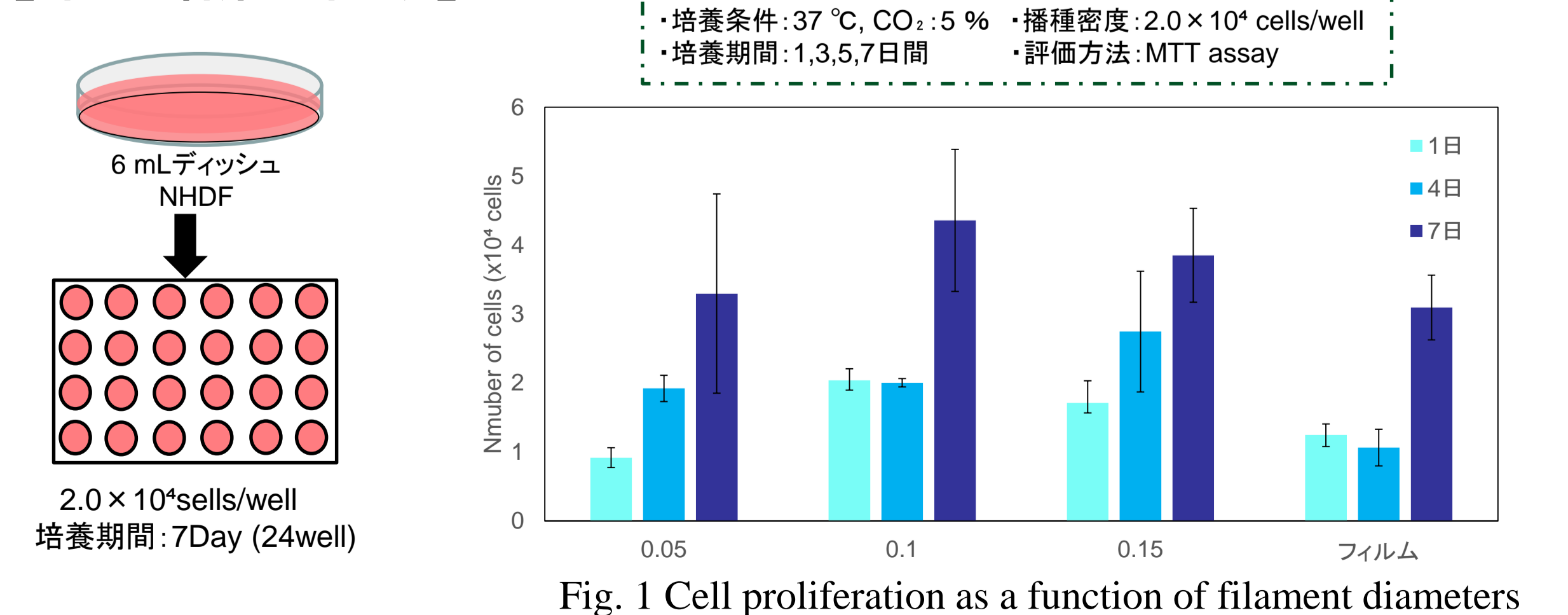


### 【3D足場材の表面粗さ】

測定条件: 規格: ISO1997, 測定速度: 0.5 mm/s, 測定距離: 1.75 mm, 試行回数: 5回

	0.05	0.1	0.15	Film
Arithmetic mean roughness(μm)	7.68	9.15	9.16	0.0758
standard deviation(μm)	1.47	1.19	0.937	0.00536

### 【細胞増殖性試験】



- ・レイヤー幅95.8 μm、137.4 μm付近、Ra値9.15 μm付近でになるように試料を作製することで細胞接着性が向上した
- ・造形時に生じるレイヤー痕が細胞の接着性を左右する要因になることが示唆された
- ・細胞接着性の向上が溝の深さまたはレイヤー幅のどちらに起因するものなのかを検討する必要がある